

燃料小売業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	15~16	取引先向かい側に車を停めて、LPガス20K容器を肩に担ぎ道路を横断中、左足からブチッと音が聞こえた。痛みがはしり、一旦容器を下ろしたが、道路を横断中だったのでそのまま横断した。救急車にて病院へ搬送された。	37	1~9
4	11~12	SS内のピット作業場タイヤチェンジャー前にてタイヤ交換作業中に、中腰姿勢からタイヤをタイヤチェンジャー機に載せた際に腰から激痛が走り、その場で動けなくなった。その後、左下肢に鋭い痛みと電気が走るような痛みが増し、腰椎椎間板ヘルニアと診断される。	29	50~99
6	17~18	傷病の原因は確認できていないが、先に本人より提出された休業補償給付申請書が労基署より認定を受けたため。	40	10~29
7	17~18	当社セルフガソリンスタンド、事務所内において監視中、外設POSがエラー発生し対応に向かおうと監視事務所出入り口から走り出した時、右足から「ブツン」と音がし負傷した。	52	50~99
12	11~12	灯油の入ったポリ容器（18L）を運んでいたところ、右足首に違和感を覚え歩行が困難になった。	71	1~9
12	9~10	本社より社用車で宅配中、客宅に水ボトルを納品していた際、当該宅の玄関の中に繋がれていた犬に右足を噛まれて負傷した。	46	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html